

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和5年度 第2回美里町近代文学館運営審議会
- 2 開催日時 令和6年3月7日(木)
午前10時から午前11時53分まで
- 3 開催場所 美里町近代文学館2階視聴覚会議室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員 岩渕せつ子委員、岩渕恵子委員、渡邊智佳子委員、木田真由美委員
志摩勝彦委員、千田優子委員、半田孝志委員
 - (2) 事務局 教育総務課課長補佐兼南郷図書館長 草刈明美、近代文学館主幹 大窪里美
 - (3) 欠席者 小野ゆかり委員、鈴木啓司委員、佐藤喜美代委員
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
 - (1) 議題
 - ① 会議録署名委員及び会議書記の選出
 - ② 令和5年度事業報告について
 - ③ 令和6年度事業計画について
 - ④ 児童サービスについて
 - (2) 会議の公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 なし
- 7 傍聴人の人数 なし
- 8 会議資料
 - 資料1 令和5年度事業報告
 - 資料2 令和6年度事業計画
 - 資料3 児童サービスについて
- 9 会議の概要
 - (1) 会議録署名委員及び会議書記について
会議録署名委員は、志摩委員、千田委員とし、会議書記は事務局とする。
 - (2) 令和5年度事業報告について
館内行事、町民ギャラリー企画展等について、事務局より報告を行った。
体験研修の受入等、コロナの時は依頼が減ったが、今年度はコロナ以前並みに受入
できるようになった旨報告した。
委員からは、町民ギャラリー企画展の美里町河北展にフォトサミットで入選した方
の作品も一緒に展示してほしいとの要望や事業報告の様式を見直してほしい等の意見
が出た。

(3) 令和6年度事業計画について

図書館行事、町民ギャラリー企画展等の計画について、事務局より説明を行った。
大人向けの事業が少ないのもっと増やしてほしい、高齢者向けに図書を使った講座を行ってはどうか等の意見が出た。

(4) 児童サービスについて

児童サービスについて、事務局より説明を行った。
子どもの利用について、美里町に限らず、全国的に減ってきており、子ども達へのサービスをどのように行っていったらよいか意見を求めた。
委員からは、メディアで取り上げてもらえるような企画をしてみてもどうか、図書館利用ガイドを作って全戸配布してはどうか等の意見が出た。

【発言内容の記録】

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|--|
| 大窪主幹 | <p>本日は、お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。開会前にご報告させていただきます。伊藤教育総務課長は、議会出席のため、欠席させていただきます。また、小野委員さんにつきましては、本日、卒業式のため欠席するとの連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは、ただいまから、令和5年度第2回美里町近代文学館運営審議会を開会いたします。</p> <p>開会にあたりまして、木田委員長からごあいさつをお願いいたします。</p> |
| 木田委員長 | <p>皆さん、こんにちは。ここにきて、また冬戻りしているような気温が続いておりますが、日差しの方だけは、光の春になってきたと思います。本格的な春を待ち望みながら、今日また皆さんとお顔合わせができてうれしい限りです。</p> <p>本日は、令和5年度の事業実績を基にして、令和6年度の事業計画が適切に立案できますよう、皆さんのご意見をいただけて参りたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> |
| 大窪主幹 | <p>ありがとうございました。次第3、会議録署名委員及び会議書記の選出になりますが、事務局から案を申し上げてよろしいでしょうか。</p> |
| 委員 | (はいの声) |
| 大窪主幹 | <p>ありがとうございます。本日の会議録署名委員は、志摩副委員長さんと千田委員さんをお願いしたいと思います。書記は事務局で行います。会議は、美里町附属機関等の会議の公開に関する規則により、原則として公開することになっておりますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、報告・協議に入ります。ここからは、木田委員長さんに進行をお願いしたいと思います。木田委員長さん、議長席をお願いいたします。</p> |
| 木田委員長 | <p>次第の4報告・協議に入りたいと思います。まず初めに(1)令和5年度事業報告について、事務局から報告をお願いいたします。</p> |
| 草刈館長 | <p>南郷図書館館長の草刈です。私の方から、令和5年度事業報告について、ご報告いたします。皆様のお手元にあります資料1を基にご報告をしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>【令和5年度事業報告について説明】</p> |
| 木田委員長 | <p>それでは、委員の皆さんから、ご質問・ご意見等を伺いたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>はい、志摩さんどうぞ。</p> |
| 志摩副委員長 | <p>町民ギャラリー企画展の中で、美里町河北展・杜のみやこ工芸展入賞・入選作品展というのがあるんですけども、河北展に以前は写真も入っていたんですね。ところが、その写真の部門が、県の芸術協会と、それから河北展が一緒になって、今、フォトサミットという形になっています。私が見た限りでは、河北展よりもレベルが上がっているんですね。それで、この美里町河北展の時に、フォトサミットで入賞した方の作品を一緒に展示してもらえないでしょうか。よろしくお願いいたします。</p> |
| 草刈館長 | <p>情報ありがとうございます。担当者には報告したいと思います。もしその時は、志摩さんにご相談してもよろしいのでしょうか。</p> |

| | |
|--------|---|
| 志摩副委員長 | 何かあれば、私に相談してもらって構いません。 |
| 草刈館長 | 分かりました。ぜひその時は、ご相談させていただきたいと思います。私も写真は興味がありますので、ぜひ伺いたいと思います。ありがとうございます。 |
| 木田委員長 | <p>その他、委員の皆さんいかがでしょうか。</p> <p>私の方から3点あります。まず、館内行事と視聴覚会議室利用講座で重複しているのがありますよね。それを重複させる必要があるのかということです。それが1点目です。</p> <p>2点目は、1回目の審議会の協議内容になるんですが、要覧の時には、前年度との比較が出てきますよね。そうすると、その様式でもって、事業報告をここで出してもらおうと、前年度と比べてなぜこのようになったのかということで、今の時点で、もっと突っ込んだ話し合いができるのではないかと思います。要覧を作る手前になってから、前年度と比較した話し合いをしても、事業計画の方には反映されなくなってしまいます。ですから、要覧の様式とこの事業報告の様式を同じものにしていただけたらいいのではないかと思います。その方が、協議の内容に深みをもっと出るのかなと思いました。</p> <p>3点目は、インターネットで図書検索ができますよね。一応この蔵書数は、12万冊と言っていますが、12万冊は全部網羅されているんでしょうかという質問です。</p> |
| 草刈館長 | <p>1番目の質問ですが、館内行事と会議室の重複記載についてですが、こちらはもう少し精査をして、どちらかに合わせた形で作った方が良かったかなと思いますので、今後はそういったところも注意しながらお作りしたいと思います。</p> <p>それから、前年度の比較についてですが、おっしゃられるとおり、何かを考えると、動きがわかった方が皆さんも考えやすいですし、発言しやすいかと思いますので、次回以降は、そういったところも参考にして、資料の作成に努めたいと思います。</p> <p>それから、インターネットの検索についてですが、こちらの方は、除籍のものは入っていないんですが、全部ヒットできるような環境になっています。あと、例えば、新聞とかは、要覧の中にも何紙とかしか出ていないんですが、そういったものについては、検索の中では出ないんですが、図書館のホームページの方には、何の新聞があるかというのは書いてあります。ですから、大体検索できるかと思います。ただ、キーワードが曖昧検索だと、ヒットしてこないことがあります。私の花っていう本を探そうと思ったのに、記憶が違って私と花と入力するとヒットしないということもありますので、検索される時の一つのコツとしては、単語をただ3つぐらい入れていただくと、ヒットする可能性は強いと思います。</p> |
| 木田委員長 | <p>他の委員さん方どうでしょうか。ご意見の方、よろしいですか。</p> <p>では、(2)の令和6年度事業計画について、事務局の説明をお願いします。</p> |
| 草刈館長 | <p>それでは、令和6年度の事業計画についてご説明いたします。</p> <p>【令和6年度事業計画について説明】</p> |
| 木田委員長 | それでは、委員さんの質疑、ご意見をいただいて参りたいと思います。いかがでしょうか。はい、岩淵委員さんどうぞ。 |
| 岩淵(恵) | 令和5年度の事業報告の時も感じたのですが、その時はお話しませ |

| | |
|-----------|---|
| 委員 | <p>んでしたが、事業報告を見ると、子ども向けの事業が多くて、大人向けの事業が少ないように思います。今回の事業計画もそうですが、南郷のおしゃべりサロン、それから、小牛田のミニ講座があるだけのような気がします。今年度行った南郷のおしゃべりサロンも、紙工作や音楽について語るということでしたが、本について、図書について何かおしゃべりできるようなこと、それから、何か大人向けの本の啓蒙活動をするようなものがあれば良いのではないかと思います。例えば、今やっているNHKの大河ドラマの紫式部でもいいし、源氏物語でもいいし、そういうものがあれば、いいかなと思います。少し大人向けの活動を入れてもらえると、ありがたいなと思いました。</p> <p>それともう1点いいでしょうか。図書の宅配をやっていますよね。高齢者施設とかひばり園っていうのは分かるんですが、体の不自由な方など個人向けでどのくらいやっているのでしょうか。</p> |
| 草刈館長 | <p>お答えいたします。確かにお話にありましたように、子ども向けの事業が多いということで、大人向けの事業もやっていきたいと思っております。おしゃべりサロンの方でも、最初音楽をきっかけにして、次に本の方に入ろうかと思ったんですが、南郷の利用者の声がどちらかというところ、ものづくりの方に参加したいということもありましたので、そちらの形をとっていたところなんです。私も考えていたのが、気軽に行って自分のお薦めする本を紹介し合うとか、そういったことをこのサロンの中でできたらいいなというのが将来的に考えていたところですので、岩淵委員さんがおっしゃっていただいたような形でのサロンも、来年度考えていきたいと思っております。</p> <p>カウンターにいますと、利用者の皆さんも、本についていろいろ語っていかれるので、そういう要望というか、場を持つというのは、もしかしたら皆さんのところで潜在的にお持ちのところもあるのかなというところがありますので、そういった場の提供も、図書館として考えていきたいと思っております。</p> <p>それから、本の宅配ですが、今、小牛田で実際に利用されている方は、1名の方になります。視覚障害者の方が今利用されているところです。</p> |
| 岩淵 (恵) 委員 | <p>ありがとうございます。おしゃべりサロンで自分が好きな本を語り合うだけではなく、講座として何か大人向けのものが欲しいなと思いました。</p> |
| 草刈館長 | <p>分かりました。その辺も考慮しながら、企画していきたいと思えます。</p> |
| 木田委員長 | <p>私の記憶では、年に1回くらい歴史的なものとか文化的なものの講演会みたいなものやっていた時期がありましたよね。</p> |
| 草刈館長 | <p>千葉亀雄の講座とかで、外部の講師の方に来ていただいてやったこともあるので、図書館だけでなく、知識を持たれている方とか町内で研究されている方にもお願いして、講座を開いていただければ、企画できるように努めていきたいと思えます。</p> |
| 木田委員長 | <p>その他に委員さん方、ご意見、ご質問などないでしょうか。</p> <p>委員長の私の方から確認ですが、先ほど認知症予防月間に、講座の方も開きたいということだったんですけども、視聴覚会議室利用講座に仮にでも認知症予防講座の講演会などと入らないのでしょうか。</p> |
| 草刈館長 | <p>こちらは、会議室でやるかどうかまでは決まっていなかったところだったので、新年度になって、担当者同士での打ち合わせがありました</p> |

| | |
|---------|--|
| | ら、こちらの方に入るかもしれません。 |
| 木田委員長 | <p>委員長意見なんですけれども、高齢者向けの講座として、予防講座だけでなく、例えば、健康脳トレ講座みたいなので、年4回くらい本を使って、例えば、音読をするであるとか、脳トレに関するような図書を使ってやっても面白いかなと思います。</p> <p>今年3月の美里の広報を見たら、美里の住民の健康寿命と平均寿命っていうのは近いんですね。健康で長生きなさっている方が随分いるなと思いました。ということで、認知症の予防にもなるということで、何か図書を使った講座みたいな事業ができればいいかなと思います。一回の啓発よりも、そちらの方が役に立つのかなというふうに思ったりしています。</p> |
| 草刈館長 | <p>事務局からですが、それに近いことを南郷の方で1月に行っております。「こころカフェ」というのをやっているんですが、その時に図書とか歌とかそういったものを使って、認知症予防ではないんですが、回想法っていうことで昔を思い出すというものをやっております。南郷図書館で行った内容がそういうものでした。あと、今回この資料に間に合わなかったんですけども、各地区で、お茶飲み会っていうのがあるかと思うんですけども、それに前は呼ばれていたんですが、コロナで自粛されていたところだったんですけども、つい1週間前の3月1日に、不動堂地区の方でそういったお呼ばれがありまして、私が行ってきて、そこでその地区の昔を皆さんと語り合ったりとか、図書館の本を持って行って、こういうのがありますよということでお話をしたところですので、そういった形を少し変化させながら、図書館の中でも利用者の方が参加できるっていうような形のものも、今後考えられるかなと思います。</p> |
| 木田委員長 | <p>ありがとうございます。意見なんですけど、事業をする際は、ネーミングを考えてください。私も「いきいき百歳体操」をやっているんですけど、60代の方、前期高齢者は参加しないんですね。ネーミングにすごくこだわりを持っている方が多くて、百歳って何で今からそんなことやらなきゃならないのみたいな。ネーミングで参加しないという方もいるわけですよ。だから、ポジティブな明るいイメージで、年齢を意識させないような、暗いイメージにならないようなネーミングを考えていただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>他にお気づきの点などありませんでしょうか。よろしいですか。それでは進みたいと思います。(3)の児童サービスについて、事務局から説明をお願いいたします</p> |
| 草刈館長 | <p>それでは、児童サービスについて、ご説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>【児童サービスについて説明】</p> |
| 木田委員長 | <p>児童サービスについて、ちょっと今の右肩下がりの現状を何とか回復できるよう、できるだけ子ども達が心豊かに本と接することができるような妙案といたしましょうか。そういったご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。ざっくばらんに、この数字というかグラフを見てのご感想でもいいかと思えます。岩渕さんどうぞ。</p> |
| 岩渕(恵)委員 | <p>私は、小牛田図書館で、子ども達に読み聞かせのボランティアをしておりますが、本当に少ないです。コロナで読み聞かせをしていなかった期間があって、そのせいかなというのもあるんですが、その前か</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>ら少なくなってきました。</p> <p>図書館が児童サービスを始めた頃からボランティアをしておりますが、その時は、下の畳の児童コーナーに子ども達が入りきらないくらいいっぱい来てくれました。「スペシャルおはなし会」も、80人、90人と本当に大勢来てくれて、作ったプレゼントが足りなくなるっていう心配をしたくらい大勢集まってくれたすごくいい状況を知っているものですから、かなり寂しいですね。</p> <p>今は、図書館に放課後の時間帯に来て、それから、土曜日、日曜日に来て、あんまり子ども達の姿がないです。前もお話したかもしれませんが、昔は子ども達が、友達同士で図書館に行こうって言って来てくれていたのが、そういうことができなくなっている環境になっているのも一つあるかなというのと、30年前と比べて学校の図書館がわりと充実してきて、学校で本を借りられるっていうのもあるのかなと思いました。それで、私達も、子ども達が来るのを待っていたのでは来ないから、子どものいるところに出かけて行って、おはなし会をしてみようということになりまして、去年の暮れに放課後児童クラブに相談をして、中塚の児童クラブと青生の児童クラブに行き、出張おはなし会をしてきました。そしたら、春休みにもぜひやってほしいということで、3月の最後の週の5日間で、5つの児童クラブでやってほしいと言われました。ありがたいことなのですが、毎日出るのはちょっと怖気づいてしまって、冬に行かなかった小牛田と北浦、不動堂の3つの放課後児童クラブにお邪魔する予定で計画を立てたんですが、子ども達が本を読むということにどうつながるか、全く読んでいないということはないと思うんです。このご時世ですから、子どもに機会を与えようということがいっぱい世の中で言われていますし、昔おはなし会に来てくれた世代の人達が、今親になっているから、子どもの本の大切さはかなり知っているはずですよ。もしかしたら、私たちが子育てした時よりも、家庭の中には本がいっぱいあるんじゃないかなと思って、それが一つの要因かなっていうふうに考えました。</p> |
| 木田委員長 | <p>岩渕さんのように、所感というか自分の経験談でも何でも結構なので、今の子ども達や家庭環境等、本とどういうふうな接し方をしているのかっていうようなご意見なりご感想なりも含めて、どんどん言ってください。志摩さんお願いします。</p> |
| 志摩副委員長 | <p>妙案かどうかわからないんですけども、千葉亀雄記念文学室の入場者数というのは、たぶんあんまりいないと思うんですよ。それでこの間、ちょっと中を見てきたんですけども、奥の方の畳のある部屋を何とか利用できないものかと思ひまして。あそこで勉強したら、すごく頭に入るような気がしたんですね。あの部屋を予約制で貸し出して勉強部屋にしたらいいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。借りる人があまりいなくても、話題性にはなるのではないかと思います。</p> |
| 草刈館長 | <p>事務局からです。確かにあそこに行くと、明治・大正の文豪の血が入ってきそうな感じなんですけど、あそこは、一応書斎を再現した展示ということになっています。やはり用途としては、千葉亀雄の書斎の雰囲気を実際に置くということになるので、勉強を皆さんにさせていただくというのは、なかなか難しいかなというところですよ。段差もありますので、難しいかなと思います。そういった形で最</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>初から設計が考えられていればなんですけれども、一応実際に使った机とかが置かれていたりもするので、展示で見えていただいて、勉強は、隣の学習スペースを使っていただくような形でお願いしたいというところです。</p> |
| 木田委員長 | <p>はい。いかがでしょうか。どうぞ、渡邊さん。</p> |
| 渡邊委員 | <p>せっかく学習スペースがあるので、年代関係なく、学習スペースがあるっていうアピールをしていったらいいと思います。</p> |
| 大窪主幹 | <p>学習スペースの活用につきましては、ホームページにも掲載しているところですが、そういったご意見もいただいておりますので、3月の広報誌に学習スペースの利用についてということで、掲載しております。学生さんなどに利用していただければと思っております。</p> |
| 草刈館長 | <p>すいません。先ほどの志摩さんのご意見に関連してなんですが、実は、千葉亀雄のパンフレットを新しく作成しまして、小中学生向けに配布しております。千葉亀雄を身近に感じていただけるかなというところです。</p> <p>それから、先ほど岩渕さんから、家庭での絵本っていうこともあったんですけれども、図書館のカウンターで、絵本をお薦めしてくださいという声はたくさん聞きます。今面白い本は何ですかとかですね。今回、子どもの本ベストリーダーを一緒にお渡ししておりますが、今流行りのものですね。例えば、「大ピンチずかん」とか、柴田ケイコさんの「パンどろぼう」シリーズとか、そういった絵本が上位にはきているんですけれども、それプラス、やはり乳幼児、赤ちゃん絵本の利用が多いっていうことはやはり、お母さんとか保護者の方達が、小さい頃からそういった絵本に対する認識が強いのかなということがすごくこのリストからも分かるところです。そこを通っていった方は、家族みんなで絵本を楽しんでいる。子どもが読むだけでなく、家族で楽しんで、大人もこの本が面白いから読んでみようかとかっていうことになっています。</p> <p>あと、星印がついているのが、ブックラリーで紹介している本です。こちらのブックラリーも大盛況でして、それぞれ読む年齢の段階でいろいろ選んでいます。「ねこちゃんにやんにやんにやん」という絵本は、かなり古いものなんですけれども、こういったものが時代を問わずに、皆さんのお手元に届いているっていうところがあります。これから派生して、例えば、彦坂有紀さんという方の絵本のシリーズがいろいろあるんですけれども、この人の本が読みたいとか、鈴木のりたけさんの「大ピンチずかん」が今話題になっているんですけど、この方の本が読みたいとか、あと、加古里子さんの「からすのパンやさん」のシリーズ、他にもいっぱいあるから読んでみたいとかっていうことで、子どももですけど、お母さんとかお父さんとか自分の小さい頃読んだものが、もう1回読んでみるとさらに面白いっていうこともあります。ということはやはり、子ども達だけに薦めるのではなくて、家族全体とか、大人の方にも何かそういった形で絵本を紹介していくっていうことも必要なのかなと思います。</p> <p>図書館では、いろいろな資料を持っているからこそ、本屋さんとか店頭にはない、古い本から今ある本まで網羅しながら渡していきたいなというところが、児童サービスの一番の根本と考えています。あと、ボランティアさんが活動していくところに、資料の提供ですとか、プログラムの組み方等を一緒にやっていければなというふうに図</p> |

| | |
|---------|--|
| | 書館の方でも考えております。 |
| 木田委員長 | 千田委員さん、どうですか。 |
| 千田委員 | そうですね。私も長く利用させていただいているんですが、私個人の感想としては、いろいろ作りものをしたり、いろいろイベントがあったのがすごい楽しかったんですね。今は全然そういうのがなくて、あまり図書館に行きたいなっていう思いがなくなったんです。昔は多分いろいろやってたんですよ。例えば、イタリアの映画のお話とかイタリア料理の講座もあったし、今年は米袋を使ったマイバッグの講座があったんですね。21人の参加があったんですが、その中に子どもさんが何人か参加されていたんです。本ばかりじゃなくて、そういうのをもう少しやっていただくと、すごい嬉しいかなって思いがあるんですね。一番楽しかったのは、だいぶ前にペンギンが来たんですよ。 |
| 草刈館長 | うみの杜水族館のですね。 |
| 千田委員 | そういうのが年に1回でもあると、大人も子どもも楽しめるんじゃないかなと思います。 |
| 草刈館長 | <p>そうですね。以前はそういった参加型のイベント等もありました。ペンギンに関しては、図書館まつりの時に行ったものです。どうしてもコロナでイベントに関する制限が、人数ですとかやり方とかっていうのが、いろいろ考える期間だったというところもありまして、工夫しながらやってきたところですけども、これからは、世の中の状況も変わってきたというところもありますので、図書館だけでなく、外部の方とも協力し合いながら、イベント等を皆さんと一緒にやっていきたいなというふうに思っています。</p> <p>やはり基本は、資料等を基にということで、図書館としては考えているので、イベントをしたら、本ですとかその他の資料でも構わないんですが、そういったものに繋がる。あと資料だけではなくて、そういうものを学べる場として、図書館の存在があればいいなというふうに考えていますので、一過性のものだけではなくて、そういった形で何かに繋がる足がかりというか、きっかけとしての図書館イベントをこれから考えていきたいというふうに思います。</p> |
| 木田委員長 | その他いかがでしょうか。はい。岩渕さん。 |
| 岩渕（恵）委員 | 子ども達が、絵本は読む、読んでもらう。その次に児童書に移るときに、その活用はどのくらい伸びているかな。絵本から児童書になかなか自分で読むようにならないっていうのを聞いたことがあります。 |
| 草刈館長 | 確かに絵本で一旦止まるというところがあります。でも、今絵本自体は、ある程度年齢がいかないと読めない絵本というのもあります。社会問題ですとか、人権問題、あと、自分の人生に関わる何かこう、大人になるための本とか、そういったものもあるんですが、それと合わせて、やはり読む子はそこをクリアしていくんですね。次に行きます。それは、どうも見てみると、家族の影響が大きいかなというところなんです。保護者の方が読んでいると、自然に読む。兄弟が読んでいると読むというような感じです。あと、どうしても皆さん読み物の方にはばかり行くんですね。絵本を読んだら読み物、童話とかそういったものにいくんですけども、そうじゃなくて、やはり、年齢を重ねていくと読み物だけじゃなくて、技術に興味を持ったり、科学に興味を持ったり、社会のいろんな歴史に興味を持ったりする子がいると思うので、図書館としては、読み物に移行というよりは、その上の知識の |

| | |
|--------|---|
| | <p>本とか、様々な本に移行していくといいかなというふうに思っています。</p> <p>その中でももしかしたら、例えば、歴史を読んでいたら新選組の小説を読みたいというふうになってくる子どももいるかと思います。あと、以前は世の中が、例えば、「ハリーポッター」ブームとか、「デルトラ・クエスト」ブームとかっていうので、世の中が本に対してすごくブームを持っていたんですけども、今その世の中が、本に対してのブームを持たなくなってきたところがあるんですよね。その中で、どうしてもアニメ化されたものとか、ゲーム化されたものとかに行くので、そこを通ってもらってもいいんですけども、さらにそこからちょっと上のそのラインで面白いよっていうのはやはり図書館の職員とか、あと学校の先生の影響も大きいんですけども、学校図書館で一つ話題になると、子ども達がそれを読む。学校図書館だけでそれが賄えるかというとなかなか難しいところがあるので、それをバックアップするっていうことでも、図書館の役割があるのかなというところなので、今、図書館と小学校での協力体制の中ではそういったことも行っているというところなんです。</p> |
| 木田委員長 | いかがでしょうか。はい、志摩さんどうぞ。 |
| 志摩副委員長 | <p>美里町の図書館のPRをするために一番いいのは、やっぱりテレビで放送されることが一番いいと思います。年1回、何か放送されるようなイベントをしてはいかがかと思います。例えば、図書館ですから、絵本の中でおにぎりが出てくる絵本っていうのは、多分たくさんあると思うんですね。そのおにぎりの絵本を読んで聞かせて、そのあとに、実際にいろんな味のおにぎりを作って、みんなで食べてっていうようなイベントをしたら、テレビでも来てくれるような気がするんですけどね。どうでしょう。これいいかなって思ったんですけどね。</p> |
| 草刈館長 | <p>そうですね。メディアの方で取り上げてもらえると、それまで知らなかった皆さんに関心を持っていただけるということもあると思います。テレビではないんですが、新聞とかで小牛田農林のマルシェとか小牛田高等学園の「コゴタブルー」とかっていうのが新聞に取り上げられると、やはり興味を持って来ていただけるっていうところもあるので、おにぎりはすごく私もいいなと思いますけれども、この辺は、企画とかで参考にさせていただきたいと思います。食に対していろいろ興味を持たれている方もいらっしゃると思うので、図書館だけでなく、他の町の中の関係するところとコラボとかというところも考えられるかと思いますが、参考にさせていただきたいと思います。</p> |
| 木田委員長 | <p>その他ありませんか。では、私から2つ。まず、全戸配布で図書館の利用ガイドみたいなものを配ったらいいのではないかなと思いました。ものすごい数になってしまうんですけど。それから、私は、民生委員もやっているんで、乳幼児がいる家庭にこういった絵本がありますよっていうようなパンフを持って訪問できると、顔つなぎにもなっているのかなと思いました。民生委員の仕事が今高齢者対応ばかりになっているんですね。余りにも子どもがいないっていうことがあるので、もしこういったことを図書館でやっていますよというような、未就学児に特化したようなチラシがあれば、そういったものを持って、そういったお宅に何うということも民生委員の仕事としては面白いのかなとちょっと思ったりもしました。それが1つです。それから、利用ガイドを全戸配布するっていうのは、今インターネットで全</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>部検索をかけて、予約もできますよね。そういったことを一体人はどれくらい知っているのかなど。だから、2年に1回でも3年に1回でも図書館はこういうふうにご利用できますよっていうことを町民全員にお知らせするっていうような機会があつていいんじゃないかと思います。図書館に来るだけでなく、インターネットで予約すると、「本が入りました」というお知らせもきますよっていうこととか、インターネットやスマホがあれば、すごく借りやすくなっていますよとか、今風の図書館利用の仕方を分かりやすくやっていただけたら、身近になるのかなっていうふうに思いました。それが1点目です。</p> <p>あと、2つ目は、さっき岩渕さんからあつた、放課後児童クラブでの春休みのおはなし会の要請がいっぱいあつたっていうことなんです。前に読み聞かせサークルの人が、もう朝読書だけで会員が手一杯なので、新しい人はもう入れてませんっていうようなことを言われたことがあつたんですよね。放課後の対応であるとか幼稚園では預かり保育をやっていますよね。そういったところにニーズがあると思うんです。そうしたら、会員を増やしてとか町内のそういった読み聞かせサークルの方々が連絡調整し合つて、出張読み聞かせを放課後にもどんどんやっていったら、もっと子ども達が身近に本に親しめるのかなど。これから少子化になっていって、保育園、幼稚園にどんどん子どもが吸収されていきますよね。そしたらますます図書館を利用するご家庭が少なくなってくると思うんです。だったら出かけて行くしかないのかなっていうふうに考えましたので、読み聞かせボランティアの活動時間帯の拡充、朝読書に限らない活動の場っていうのを開拓して、5つの地域というか、6つの小学校ですか。そういったところで活動、活躍していただけないのかなというふうに思いました。</p> |
| 草刈館長 | <p>全戸配布のことですけれども、以前私達もそれは考えていたところなんです。町としては、広報誌とかを活用してほしいということなので、広報の担当と例えば、1紙面少し大きくさいて、図書館の利用について掲載してもらえないかどうか相談したいというふうに思います。それから、民生委員さんの話は私もそうかと思いました。民生委員さんというと高齢者の方とかひとり住まいの方を対応されるのかなど思っていたんですけれども、子ども達の対応とかもあるのであれば、民生委員さんの方にも働きかけとかそういうものも考えてきたいと思います。</p> <p>放課後児童クラブとかそういう外部での活動ということですが、先月2月に行った子どもの本の養成講座の方にも、実際にボランティアをされている方とまだされていない方とか、いろんな方が参加していただいたので、その中からボランティア活動をやりたいという方がいらっしゃれば、今町内に3つの読み聞かせのボランティアグループもありますので、その中で活動していただいたり、新しく立ち上げていただいてもいいんですけれども、そういったところで、皆さんが動いていただければなと思うんです。ただ、今あるボランティアグループの皆さんのところが、なかなか若い方が入ってらっしゃらないっていうところもあります。若い方、例えば前だと30代、40代のお母さん方が主だったんですけど、今そちらの年齢層の方たちは、お仕事をされてるっていうところがあるので、ボランティアをされる方をまず集めて、それぞれの活動をしていくと。地区ごとで大体動いているので、小牛田図書館は小牛田地区の中で、南郷は南郷地区</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>の中でというふうになっていると思います。以前は3つのグループが集まって話し合いとかもしたことがあるので、そういう活動ができればというふうに思います。以上です。</p> |
| 木田委員長 | <p>いかがでしょうか。ご意見ありませんか。どうぞ、半田さん。</p> |
| 半田委員 | <p>まず、館内サービスの状況の中で、おはなし会、子ども向け事業の参加者が減少していると書いてあります。この館外サービスについて、書かれたものを見ますと、例えば、ぼかぼかおはなし会小牛田、毎月第1・第3水曜日とあります。おはなし大好き南郷は、毎月第2水曜日と書いてあります。これに参加するのは、たぶん保護者が連れてくる子どもだと思うんですけども、保護者が休みでないと来れないというふうに考えると、もし参加したくても、今日仕事があってという方は控えると思うんです。だとしたら、できるだけ参加してほしいという願いから、土曜とか日曜に行くという手もあるんじゃないかなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。</p> |
| 木田委員長 | <p>はい、事務局。</p> |
| 草刈館長 | <p>小牛田のおはなし会は、土曜日に行っているの、今お話をしたのは、たぶん館外サービスの方かと思います。館内で行っているものは、おはなし会が毎週土曜日に小牛田で、あと、おはなし広場を火曜日にやっています。おはなし大好きも、毎月水曜日に基本的に館内で行っていたところですが、今、半田委員さんがおっしゃったように、利用がなかなかなくて、今、場所が子育てセンターの方で行っているということになります。土日にやると来館するかということなんですけれども、土日は土日で子ども達が大忙しで、土曜日はスポーツ少年とかクラブ活動の延長みたいなものがある、どの時間帯でやっていたかというのなかなか難しいところがあります。いつもこの時間帯に来るといってお子さんはなかなかいないところがあります。土日は土日でお父さん、お母さんが休みの日もあるんですけど、お仕事されている方もいらっしゃるってところもあって、なかなか以前のような、週休2日だからこの辺でいけるかっていうと、その通りにはなかなかいかないところなんです。子ども達が大忙しというような状況になっています。</p> <p>南郷は、比較的子どもの個々がちゃんと見えるくらいの利用になっているので、読み聞かせとかもたまにパーソナル的に個人で行ったりとかはするんですけども、それを2組、3組合わせるっていうのはなかなか難しいかなというところなんです。</p> |
| 半田委員 | <p>子ども達の読書に対する動機づけというんですかね。それには、家族の影響もあるというふうにお話になったんですが、例えば、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん等の影響もあるんだとすれば、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんに向けてPRするのも一つの手ではないかと思います。</p> <p>先ほど広報で知らせるっていう話があったんですが、今までの広報だとわずかな行しかなくて、PRもちょっとできかねていたのかなと思います。</p> <p>私が刺激を受けた本の中に、「100歳までに読みたい100の絵本」というのがあって、私はその中身を見て、ほとんど読んでいないなと思って、図書館にあるものをできるだけ借りるようにしてみました。読んでいないという衝撃を受けたんですけども、そういうふうなおじいさん、おばあさん、あるいは保護者、お父さん、お母さん向け</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>のPR、刺激の仕方もあるのではないかというふうに思いました。もう1つ刺激を受けた本のタイトルが、「小学生のうちに読んでおきたい本」でしたっけ。そのリストを見ると、私はほとんど読んでいない。小学生のうちにこれを読まないといけないのかとプレッシャーみたいなものを感じて、少し図書館であるのを借りて読みました。そういう親あるいは祖父母を少しだけ刺激するような宣伝もあっていいのかなと。もしそうであれば、さらに子どもにも良い影響がいくかもしれないなというふうに今思った次第です。</p> |
| 木田委員長 | <p>ありがとうございます。いかがですか。事務局。</p> |
| 草刈館長 | <p>確かに半田さんがおっしゃいましたように、保護者の方が一緒になって読むとか、おそらく子ども達は、絵本を読んでそれを誰かに伝えたり、お母さんとかお父さんとか家族の人とこの本一緒に面白いねっていう、その感覚があると、次の本も一緒に読んでみたいということになると思います。1人で読みなさいというよりは、一緒になって楽しむということがすごく読書に繋がるのではないかというふうに思いますので、大人が興味を持ってもらえるような、そういった本の紹介ですとか、何かそういう会とか、そういったものも、これから図書館でも実施することで、子どもの読書に繋がっていくのではないかというふうに思います。ご意見ありがとうございます。</p> |
| 木田委員長 | <p>他にありませんか。私から、さっきの補足説明です。民生委員は、民生委員・児童委員ってダブルなので、児童も対象です。それから思ったのは、この事業で、さっきから草刈さんの話を聞いていて、ターゲットは一体どこなのかっていう話だと思うんですね。すべての年代の子ども達がターゲットっていうことはできないので、例えば、この催しは未就学児がターゲット。ここは小学生がターゲット。ここは中学生がターゲット。高校生になると大人と同じだからいいかなとは思いますが、ターゲットにする年齢層を絞って内容を考えていくっていう発想が必要なのではないかなというふうに思いました。</p> <p>それから、先ほど言った土日問題もありますけど、子ども達を連れてくるのに、親を当てにはできないということが、今明らかになってきているわけですね。親は親で忙しい。じゃあ、親に対してどういう知らせ方をするのかっていうことで、半田さんのように、親に知らせる、祖父母に知らせるっていうその知らせ方っていうのが、私がさっき言ったように、未就学児の家庭に民生委員さんを通じて、絵本紹介なんかを配ったらいいんじゃないかっていうのも、親ターゲットになるわけですね。誰にどんな手段だと有効に情報が届くのかっていうのをもうちょっと考えて工夫していく必要があるのではないかということ、皆さんのご意見を聞きながら思いました。</p> |
| 草刈館長 | <p>本当にそうですね。そういうふうにターゲットを絞ることによって、明確になると思います。それで参加しやすかったり、伝わりやすくなるということがあると思いますので、ただお知らせするだけではなくて、誰に向けてというところを、意識した事業を作っていきたいというふうに思いました。ありがとうございます。</p> |
| 木田委員長 | <p>どなたかご意見ありませんか。岩渕せつ子さん。</p> |
| 岩渕(せ)委員 | <p>今、新聞を取っていないお家がいっぱいあるんですね。私も今ちょっと目の病気を患ってしまっていて、本から遠ざかっているんですけども、私の周りでお孫さんを育てているお友達が結構いらっしゃるんですけど、とにかくその方が本を読まないんです。ラインでくる文章も</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>ちょっと変な日本語になっている。悪いんですけど、語彙力がないって私は感じたんですね。その方に育ててもらっているお孫さんたちは、ゲームを預けられているんですね。それで、お母さんから何時間っていう制約があって、その時間になると、パスワードみたいなものを入れないと、その機械が動かないみたいなんですけど、おばあちゃんはお母さんとの約束を守らないで、それを預けていると静かだから入れてあげるんですね。私は孫がいませんので、人のことは何とも申し上げられないんですけども、今から成長していくのに、アメリカかなんかの研究機関で、それを操作している子どもの能力が落ちてきているという研究結果が出たとかってニュースで見たんですけど、今からの子どもさん達がちょっと本から離れていけば、今度日本語の解釈もできない。それが一番基本だと思うんですけども、本から離れている子どもさん達に、どうやって本に興味を持ってもらうか。私も「ハリーポッター」を見てドキドキして、全巻子ども達に買ってあげて、私もワクワクして読んだんですけども、そういうわくわくする本からいろんなことを学ぶと思うんですけど、そういうことがこれからもあるんでしょうか。こんな意見しかないんですけど、ごめんなさい。</p> |
| 草刈館長 | <p>どのきっかけで子ども達が本を取るかっていうのが、だいぶ変わってきたかと思います。去年は映画がきっかけになって、本を読むっていう方、子ども達がいました。今、ライトノベルという、中高生向けの本と児童書の境目がなくなってきてるところもあります。女子高生が戦時中のところにタイムスリップしてその人と恋をしてという映画があるんですけども、それがライトノベルで出ていて、児童書でも出ています。大人も子ども読める。ですからそういったきっかけから入っていく子も、ある程度年齢が上にならないと読めないんですけども、そういったものが、本と出会うっていうことであるかもしれません。絵本からだんだん上っていく子もいれば、突然そう入ってくるっていうケースもあります。</p> <p>私達も、新聞やインターネットの情報、SNS等で、今何について皆さんが興味を持っているのかとかをキャッチしながら本を紹介したりしています。それは、子どもに限らず大人もそうです。ゲームも、複雑なゲームとかになると、小説化されたりもするんですね。あと、例えば、鬼滅の刃とかああいったアニメが小説化されたりしています。今、メディアミックスというか、いろんな小説とか映画とかゲームとかの中から何が発生するか私も予測できないところがあります。ですから、その中からきちんと選択していかなければならないってということもあると思うんです。何でもいっていいわけではないと思うので、そういったところを注意しながら、子ども達が本に触れられればいいなというふうに考えております。</p> |
| 木田委員長 | <p>随分お時間が長くなってしまいましたけれども、ぜひこれだけはあるというご意見がありましたら、伺いたいと思います。今までの全部通しでも構いません。いかがでしょうか。はい。半田さんどうぞ。</p> |
| 半田委員 | <p>南郷図書館はおしゃべりサロンを年4回やっているんですけども、私はこれに参加したことはないんですけど、かつて、小牛田の図書館まつりの時に、司書さんが本を紹介してくれたんですね。今私のお薦めはこの本ですよっていうのをやってくれたんですけど、その時に私は、そういうのではなくて、小説の読み方を教えてくださいって言ったことがあるんです。ただそれは、今日の議題ではないので駄目ですって</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>言われたんですが、私みたいな初心者が、小説はどうやって読むんですか。どう読んだらいいんでしょうか。そういうような話をするっていうのはないんですか。私の希望です。あれば参加したいです。</p> |
| 草刈館長 | <p>小説の読み方になるかどうか分からないんですけども、例えば、本の種類とか小説を私は本当にその人が個人で読んで楽しむものだと思っているので、例えばその小説から派生して、何か物を調べたいとか、実際にそれがあつたのかというときに、どういった本を読めばいいのかという読み方はあると思います。あと、作家を遡っていくと、今は歴史小説しか書いていないけれども、ハードボイルドも書いていたとかいうような小説をどう楽しむかとか、そういったことのお話はできるかと思っています。あと、やはり図書館は、読み物だけではないっていう資料がたくさんあるんですね。7割方は小説以外の本になりますので、そういったものをどう使うかというような本の使い方みたいなことは、企画としてはできるかと思っています。</p> |
| 木田委員長 | <p>はい。半田さんどうぞ。</p> |
| 半田委員 | <p>私が小説の読み方を教えてほしいって聞いたのは、私の読み方が悪いのか頭が悪いのか分からないんですが、例えば、「キリエのうた」という小説があつて、小塚路花っていう小さい子が、何で大阪まで行ったんだっていうのがよく分からなくて、2回読んだんですが、お兄ちゃんという人が大阪の大学に行ったから、だから追っかけたのかな。この子は、どうやって行ったんだっけとかそういうのがこんがらがって、これは結局私の頭が悪いということになるんですかね。その辺の何が大事で読んでいけばいいのかがよく分からない。あさのあつこさんとか、そういう実際本を書いている人が、こういうふうに読めばいいっていうのを書いた本があつたんですけども、あさのあつこさんは、自由に読んでいいって書いてあるんですね。私たちは別に、例えば、教科書のような読み方をしてほしいとかそういうのは思っていないですよ。自由に読んでいいんですよって書いてありました。自由に読むというのはどういうことなんだって。ただ、自由に読むと中身が分からないっていうのが私はあります。一体どういうふうに読めばいいのかなっていうのを聞きたいなと思っていたんですが、そういう講座はない。</p> |
| 草刈館長 | <p>たぶんあさのあつこさんの言う通り、自由に読んでいいんだと思います。確かに分かりづらい小説っていうのはあると思います。それから、自分が読んで合わない小説っていうのもあると思います。私は、村上春樹がすごい苦手で、読めないんです。あと、宮川賢治の童話も苦手なんです。読みますけれども、カムパネルラのこととかああいうことが、理解したつもりでも、おそらく理解していないと思います。そういうふうな世の中でいろいろ取り上げられているものに関しても、自分が気持ちに乗らないとか、よく分からないという場合は、よく分からないという感想でいいと思います。</p> <p>横尾忠則さんかな。ちょっと離れますけど、絵画の見方を教えてくださいと言った時に、絵画の見方はありません。あなたが第一印象で見た絵が、そのままそのあなたの絵ですっていうふうなお話をされました。だから、絵の構図がどうのこうのとかそういう知識はもしかしたら後からついてくるかもしれないけれども、美術展に行ったら、そういうものはとっぴらって見ると、絵は楽しく見ることができるといふことでした。</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>私もいろんな人の本を読みますけれども、書評を読んでから読むものもあるし、第一印象でこの本面白そうって思うものもあるので、まずは深く考えずに読んでみてほしいと思います。全部理解しようと思うと、たぶん読めなくなってくると思います。でも、何回か読んでいくうちにくせになって、読み続けるかもしれないし、やっぱり駄目だなんて思うかもしれませんが、そういうことも含めて、本を楽しんでいただければなというふうに思います。</p> |
| 木田委員長 | <p>委員長の方からですが、私は国語の教師で、授業で小説の読み方っていうのも指導計画の中にあるので、教えております。ただそれは、分析的に読む読み方なんですよね。だから、自分が読むときは、ストーリーを楽しみながら読むっていう読み方もありますし、あと、主人公とかの心情を読みながら、心情に共感しながら、または、反発しながら読むっていう読み方もありますし、この小説がどんなテーマを取り上げているのかっていうのを知るために読むっていう読み方もあるので、やっぱりそこが自由に読むっていうことだと思います。</p> <p>教科書通りの読み方っていうのは、すべてあるわけではなくて、一応小説っていうのはこういうものだよっていう文章の特徴は教えますけれども、それをどう味わうかっていうのは自由で、その人が楽しみたいものを楽しめばいいということになるかと思います。</p> <p>私の読み方で合っているかどうかっていうのを話し合う場が読書会だと思うんですよね。私はこういう視点で見ました。こういうところが面白かったですっていう自由感想を発表し合う場があると、よりその本は掘り下げられると思いますので、そういう機会があってもいいのかなと思います。ただ、私がそこに参加するかというと、参加はしないと思います。私は私で本を楽しんでいるので、人が楽しんでいるのを別に聞かなくてもいいという気になるからです。だから、本当に小説に限らず音楽だって何だってそうですが、自分が気に入ったものは、気に入って面白いというふうな楽しみ方で、私はそれで満足しています。こういう考え方もありますっていうことをご紹介しました。</p> <p>岩渕さんどうですか。</p> |
| 岩渕 (恵) 委員 | <p>皆さんもお感じだと思うんですが、本屋さんに行くと、読みたい本がすぐ目に入る。図書館に来ると、多分同じ本があるんだろうに、なかなか見つけられない。それが、図書館の性質上、並べ方をこうしなくちゃいけないっていうのがあって、そうなっていると思うんですが、本屋さんのようなことはできないものでしょうか。</p> |
| 草刈館長 | <p>本屋さんもある程度配置の規則があるそうなんです。ツタヤは別ですけれども。図書館のルールというのが、全国共通であるわけなんです。書店に行って一番分かるのは、読みたい本が全部平積みになって、面見せされています。ポップを書いたり、そういったアピール度は、やっぱり図書館と違うかなというふうに思います。短期間で成果をあげなければならないというところもありますから、そこが書店の特徴だと思います。</p> <p>図書館になると、人気のある本は全部貸し出し中になるので、実際に見ることができない。そこがやっぱり一番の違いなのかなというふうに思います。複数購入はなかなか難しいところもありますので、図書館の特集展示とかで皆さんに本と出会ってほしいということで、展示しているところです。</p> <p>あとは申し訳ないですけど、聞いていただいて、リクエストとか予</p> |

| | |
|-------|---|
| | 約とかをしていただくというような形になります。 |
| 木田委員長 | 他にどうでしょうか。よろしいですか。では、ここで報告・協議については終了とさせていただきます。 |
| 草刈館長 | <p>皆様どうもありがとうございました。今回の会議で皆さん2年間の運営審議委員をおつとめいただきまして、ありがとうございました。この2年間、コロナとかで実際に会議をもてなかったところなんです、令和5年度は、2回開催いたしまして、実際に皆さんの顔を見ながら、活発な意見を頂戴しまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今回いただいた意見を、次の図書館運営に反映させながら、進めていきたいと思っておりますので、これからもどうぞ図書館の方をご利用いただければと思います。本当に皆様ありがとうございました。</p> |
| 大窪主幹 | <p>大変お疲れ様でした。委員さんの報酬と費用弁償ですが、3月の第4木曜日までにご登録いただいている口座に振り込みさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第2回美里町近代文学館運営審議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。</p> |

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 _____

委員 _____